○添付資料４－２

１．事業の概要

（1）実施の目的

弘前商工会議所は、弘前ならではの地域ブランド＝場のブランド化に取り組んでおり、特にＪＡＰＡＮブランド育成支援事業については、弘前市の小規模事業者の参画意欲が強く、弘前地域経済活性化の起爆剤として大きな期待が寄せられている。

弘前地域の津軽塗職人は、これまでに無い「ものづくり」に挑戦する進取の気性を備え、若い職人集団は、新しい世界に挑戦する作品の製作にも取り組んでいる。平成17年度から19年度の３年間で「ブランド確立」に向けた取り組みを推進し、世界市場でも通用する『津軽塗＝色漆＝ｊａｐａｎ』ブランドの確立を目指すことを目的とする。

【本プロジェクトの目的】

地域経済が疲弊している中、新たな事業展開の可能性を提示し、弘前地域商工業者に活力を与えることが商工会議所の大きな使命であるという信念で、地域の特性を活かす視点で、津軽の風土が生んだ『津軽塗＝色漆＝ｊａｐａｎ』の活動を再生することによって、津軽が持つ歴史と伝統を基礎とし、世界に向けて、『ＪＡＰＡＮ　津軽塗デザイン』を発信し、これを起爆剤として、連鎖的に、地場産業の再生、地域経済の振興につなげていく必要性から事業化を推進する。

【成功イメージ（目標）】

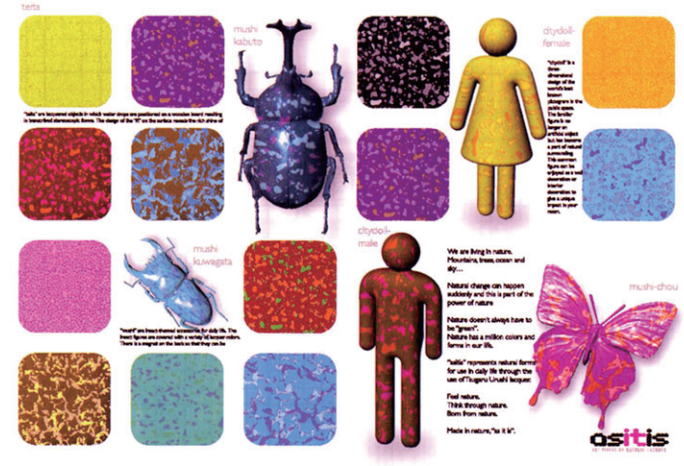
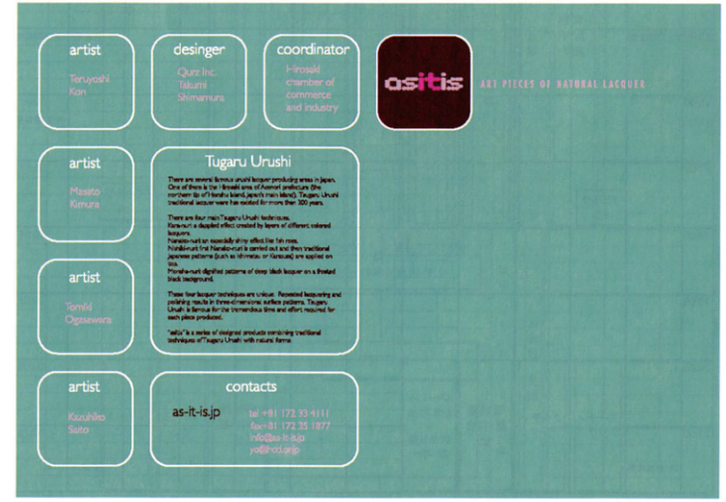
＜短期目標＞

・「津軽塗」ならではの現在の生活様式にあった多様なフラクタル（不規則抽象パターン）のデザイン（塗り模様）開発
・大量生産ではなく「ONE to ONE Marketing」オーダーリングシステムの導入
・あらゆる「もの」と「塗模様」とのコラボレーション
・イタリア・オーストリア・フランスの大都市圏の富裕層をターゲットにした海外展開（国際見本市への出展、漆文化がないヨーロッパ諸国へのマーケティング活動を展開しながら、「弘前から、津軽塗＝色漆＝ｊａｐａｎの再生」を世界にアピールする。）

＜中長期目標＞

地域内の伝統工芸品や地場産業との関係性の構築を目指し、それらのネットワークから派生するファッション・インテリア・テーブルウェア等の企業家育成、産業クラスターを集積し、弘前地域事業者の業態転換につなげ地域経済の浮揚を図る。

津軽塗の統一イメージのもと、『うるおい、うるわし』のあるライフスタイルデザインの提供は、必ず多くの人に「夢と感動」を与えることになり、地場産業に関わる人々が共通の連帯感（風土・歴史・物語等）を持ち、地域住民を巻き込んだ意識高揚をはかる動機付けの起爆剤となり、ファッション・住環境の分野での需要が見込まれ、事業機会の拡大・雇用増加など、地域経済への波及効果は必定であると確信している。

（2）委員会

弘前商工会議所内に「世界へ発進！津軽『うるおい・うるわし』事業プロジェクト委員会」を設置し、津軽塗の価値を普及しブランド力を磨き上げるために、先進的な取り組みを図ることを目的に、本事業提案書の目的に係る調査・研究・制作・開発等の事業を行い、その結果をとりまとめを行った。委員構成は次のとおり。